

ルクセンブルク経済・金融情勢（2013年7月前半）

1. 経済

- 当国所在企業のうち、2013年1月1日時点で最大の雇用を有するのはアルセロール・ミタルグループ（4,810名）。2位はBGL BNP パリバグループ（4,060名）、3位はP&T社（3,990名）であった。なお、当国政府は26,112名の雇用を有している。（1日付統計局プレスリリース）
- 2013年第1四半期の当国貿易収支は、180百万ユーロの黒字であった。2012年第1四半期は435百万ユーロの黒字であったため、前年同四半期比で▲255百万ユーロである。（2日付中央銀行及び統計局プレスリリース）
- 2013年第1四半期の経済成長率速報値は、前年同四半期比1.0%増、前四半期比では▲1.6%であった。また、2012年の経済成長率は0.6%から0.5%に見直された。（2日付統計局プレスリリース）
- 2013年第1四半期、当国における倒産件数は522件で、前年同四半期比で▲8%。倒産件数の減少は見られるものの、部門別に見ると建設セクターの倒産件数は55件で、前年同四半期比48%の増加である等、状況が改善しているとは言い難い。（2日付ヴォルト紙）
- 6月のインフレ率は2.1%（5月は1.65%）。（3日付統計局プレスリリース）
- ルクスエアー社、2014年3月30日よりダブリンへ週4便で就航すると5日に発表。（6日付ヴォルト紙）

2. 金融

- ルクセンブルク・フォー・ファイナンス（注：当国財務省管轄の半官半民団体に、当国金融センターを振興するための組織。）CEOとして、職業外交官のニコラ・マッケル（Nicolas Mackel）氏が就任。（1日付ルクセンブルク・フォー・ファイナンス）
- スイスのプライベートバンクであるミラボー（Mirabaud）グループ、2014年より当国に欧州の顧客を対象とした資産管理銀行を開設予定であると1日に発表。（2日付ヴォルト紙電子版）
- HSBCホールディング社、法人向けサービスを提供する支店を当国に開設すると8日に発表。また、6月に閉鎖が決定されていた同グループの当国所在プライベートバンクであるHSBC Trinkaus & Burkhardについては、リヒテンシュタインのVP Bankへの業務売却手続が開始された。（8日付ヴォルト紙電子版及び15日付ペーパージャム誌電子版）
- 4月末時点の当国における投資信託資産残高は2兆5840億ユーロで、一

年で16.82%の増加。(9日付ヴォルト紙)

●EU代替投資ファンド・マネージャー指令(AIFMD)を国内法化するための法案が国民議会にて可決。(10日付ヴォルト紙電子版)

●保険委員会(Commissariat aux assurances)の年次報告によると、2012年、当国保険会社全体の税引き後利益は1兆6780億ユーロで、前年比28.53%の増加。また、当国保険セクターにおける就業者数は前年比で6%増加した。(12日付ル・コティディアン紙)

3. 政府

●フリーデン財務相、ブリュッセル開催のユーログループ(8日)及びEU財務相理事会(9日)に出席。(8日付財務省コミュニケ)

●ルクセンブルク政府、今年3月の国債発行に続き、総額20億ユーロの国債を市場を通じ発行。当国が1年で2度も市場を通じて国債を発行するのは前例がないことである。(3日付ヴォルト紙電子版)

●シュナイダー経産相、8日に自動車関連センサーを製造する当国IEE社のR&D分野への共同出資協定に署名。(9日付ヴォルト紙)

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。